

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	0088	行政バス運行経費	会計	01	一般会計	
基本	51	市内交通機関の利便性を高める	款	02	総務費	
策			1	バス等の利便性向上	01	総務管理費
細目			06	企画費		
細々目			105	バス等対策事業費		
細々目			01	行政バス運行経費		
基本計画該当頁			181		行革大綱の重点事項番号	
7						
担当部課	コード	750100	評価者	小澤 猛		
名称	青山支所総務振興課		氏名	連絡先		
				52	1114	
				(内線) 101		

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
・交通空白地域における市民。 (対象件数)	・日常生活に欠かせない交通移動手段が確保される。
根拠法令・要綱等 道路運送法・三重県バス運行対策費補助金交付要綱	
開始年度 平成 12 年度	関連事業 スクールバス運行(10款教育費・2項小学校費・1目学校管理費・101-02スクールバス運転管理及び維持経費)
終了年度 平成 年度	
本年度事業内容	状況変化等
青山行政バス滝線(10.1km片道)・高尾線(16.8km片道)霧生線(13.3km片道)を4.5往復運行した。	H12から廃止替バスとして運行している。H17H18については、ダム周辺整備事業の道路整備事業による、迂回運行をしたため、運行経費が増高した。H19についても霧生線で11月から道路工事が予定されている。また、H18で委託料精算方法を変更したため委託料減となった。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
路線数	路線	目標	3	目標	3
		実績	3	実績	3
便数	便	目標		目標	8,296
		実績	11,704	実績	8,296
		目標		目標	
		実績		実績	

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
収支率	持続可能な収支であるか。	%	目標 22.6 実績 22.6	目標 26 実績 25.8	30	40
利用者数	需用があるか。	人	目標 81,706 実績 81,706	目標 81,000 実績 80,088	81,000	81,000

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	青山行政バスは、中学生のスクールバスとしての利用も多く、また、交通手段を持たない高齢者の通院、買物など交通空白地域の交通手段として必要であり、運送事業者、地域による運行については共に限界があるため、行政の関与が不可欠である。
有効性	3	H18利用人数80,088人・バスによる人口カバー率67%・1日当たり区間別利用者数40人以上であり、通学の交通手段として、また、日常の交通手段を持たない人の利用もされている。また、利用者数については、対前年比98%にとどまった。
達成度	3	ダム周辺整備事業の道路改良事業等の影響で迂回運行を実施したが、運行便数については計画どおりの運行をした。
効率性	3	便数調整により収支率は改善しつつある。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	H18.4から乗車率を勘案し便数調整。H19に地域公共交通会議に諮り、12月から対キロ運賃の導入(当面上限500円の予定)

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容					平成18年度 決算内容					平成19年度 計画内容					平成20年度 計画内容					平成21年度 計画内容					平成22年度 計画内容				
		17	18	19	20	21	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	
委託	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	運行業務委託料			(千円) 48,418	運行業務委託料			(千円) 35,040	運行業務委託料			(千円) 44,040	運行業務委託料			(千円) 37,000	運行業務委託料			(千円) 37,000	運行業務委託料			(千円) 37,000		
	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	消耗品				修繕料			51																		
工事																															
進捗率(%)						事業費計(A)			48,420	事業費計(A)			35,091	事業費計(A)			44,040	事業費計(A)			37,000	事業費計(A)			37,000	事業費計(A)			37,000		
事業投入人員						人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160	人件費(B)	0.3	人	2,160		
フルコスト(A)+(B)									50,580				37,251				46,200				39,160				39,160				39,160		

事業費(人件費除)の財源内訳

(A) 事業費		48,420		35,091		44,040		37,000		37,000		37,000
Aの財源内訳	国庫支出金											
	県支出金	8,112		7,035		4,000		3,230		2,770		2,310
	地方債											
	受益者負担											
	その他											
一般財源	40,308		28,056		40,040		33,770		34,230		34,690	
計	48,420		35,091		44,040		37,000		37,000		37,000	
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・補助対象経費(走行km×106円)×補助率1/2「経常欠損額限度」		市町村自主運行バス運行費補助金補助対象経費(走行km×106円)×補助率9/20「経常欠損額限度」		市町村自主運行バス運行費補助金補助対象経費(走行km×106円)×補助率2/5「経常欠損額限度」		市町村自主運行バス運行費補助金補助対象経費(走行km×106円)×補助率7/20「経常欠損額限度」		市町村自主運行バス運行費補助金補助対象経費(走行km×106円)×補助率3/10「経常欠損額限度」		市町村自主運行バス運行費補助金補助対象経費(走行km×106円)×補助率1/4以内「経常欠損額限度」	